

2024年1月18日

〈ニュースリリース〉

サントリーホールディングス株式会社
サントリー食品インターナショナル株式会社

東北北部の新配送拠点 「岩手盛岡配送センター」稼働開始

— 倉庫間の貨物移動を無くすことで
年間あたりドライバーや倉庫作業員の労働時間を約2万1,000時間、
CO₂排出量を約20トン削減 —



この高解像度画像は <https://www.suntory.co.jp/news/index.html> に掲載しています。

サントリーホールディングス(株)は、東北北部における物流効率化を目的に、サントリーグループの新しい配送拠点「岩手盛岡配送センター」を1月22日(月)から本格稼働します。

同センターの稼働に伴い、岩手県内に点在していた在庫保管・出荷の機能を1カ所に集約でき、これまで発生していた近隣倉庫間での貨物移動が不要となります。また積み込みや荷下ろしを行うスペース(トラックバース)が屋内に配置されており、雪などの悪天候の影響を受けないため、作業員の負荷低減や、積み込み・荷下ろしの作業の効率化につながります。

従来と比較し、年間あたりドライバーや倉庫作業員の労働時間を約2万1,000時間、トラックの輸送距離を約2万6,000キロメートル、CO₂排出量を約20トン削減できる見込みです。

人手不足やさらなる物量の増加など、物流を取り巻く環境の変化への対応は近年ますます重要となっています。当グループはこれからも持続可能な物流の実現を目指し、物流企業やドライバーにとってより働きやすい環境をつくとともに、自然環境に配慮した物流を推進します。

●配送センター概要

名称	岩手盛岡配送センター
所在地	岩手県 <small>しわぐんやはぼちょう</small> 紫波郡矢巾町大字広宮沢 第1地割279番/280番
延床面積	約1万6,000㎡
竣工・稼働	2024年1月
取り扱い商品	酒類、清涼飲料各種
出荷対象エリア	青森県、岩手県、秋田県
業務委託先	日本通運（株）

▼サントリーグループの物流における主な取り組み

・共同輸送やモーダルシフトによる効率化

大王製紙グループとの関東圏-関西圏の共同での長距離輸送

（2022年8月～ ニュースリリース No.14213 参照）

ユニ・チャーム（株）との静岡-福岡間の鉄道コンテナの共同利用

（2021年2月～ ニュースリリース No.13855 参照）

・自動化など先端技術の導入による効率化

北陸の新配送拠点「石川金沢配送センター」稼働開始

（2023年8月～ ニュースリリース No.14437 参照）

製品の物流管理システムを刷新

（2023年6月～ ニュースリリース No.14404 参照）

沖縄とみぐすく豊見城配送センター稼働

（2022年4月～ ニュースリリース No.14128 参照）

浦和美園配送センター稼働

（2021年11月～ ニュースリリース No.14028 参照）

海老名・奥大山の配送センターで自動化設備の運用を開始

（2020年4月～ ニュースリリース No.13700 参照）

▽本件に関するお客様からの問い合わせ先

サントリーお客様センター <https://www.suntory.co.jp/customer/>

以 上

水と生きる SUNTORY

自然と水の恵みに生かされる企業として、貴重な水資源を守ること。
さまざまな企業活動を通じて社会に潤いをもたらし、社会にとっての水であること。
社員一人ひとりが水のように自在にしなやかに挑戦できる会社であること。
「人間の生命（いのち）の輝き」をめざす想いを、「水」に託して伝えるメッセージです。